

2008. 5

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

Vol.37

ひ お き

主な記事

市職員の給与・職員数等の状況	2
梅雨・台風への備え	4
日置市の国際交流	6
まちの話題	8
うたごよみ	15
市民の広場	18



5 職員手当の状況(平成19年4月1日現在)

期末手当・勤勉手当

区分	1人当たり平均支給額(18年度)	18年度支給割合	
		期末手当	勤勉手当
日置市	1,609,000円	3.00月分	1.45月分
鹿児島県	1,774,000円	2.95月分	1.45月分
国	—	3.00月分	1.45月分

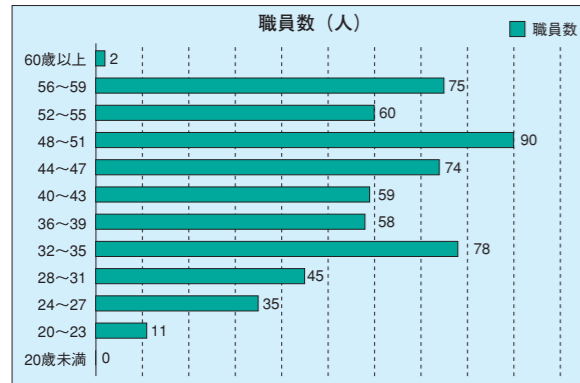
退職手当

区分	日置市	国	
自己都合	勤続20年	23.50月分	23.50月分
	勤続25年	33.50月分	33.50月分
	勤続35年	47.50月分	47.50月分
	最高限度額	59.28月分	59.28月分
勸奨・定年	勤続20年	32.76月分	30.55月分
	勤続25年	41.34月分	41.34月分
	勤続35年	59.28月分	59.28月分
	最高限度額	59.28月分	59.28月分

扶養手当・住居手当・通勤手当

区分	内容
扶養手当	<ul style="list-style-type: none"> ・配偶者 月額13,000円 ・配偶者がいない場合の1人目 月額11,000円 ・配偶者以外の扶養親族1人につき 月額6,000円 ・扶養していない配偶者がいる場合の1人目 月額6,500円 ※満15歳に達する日以後最初の4月1日から満22歳に達する日以後の最初の3月31日までの子は、1人につき5,000円を加算。 ※支給内容は、国と同じ
住居手当	1) 借家・借間居住者(上限額27,000円) <ul style="list-style-type: none"> ・月額家賃が23,000円以下の場合 月額 12,000円 ・月額家賃が23,000円を越える場合 月額 (月額家賃-23,000円)×1/2+11,000円 2) 持ち家居住者 月額 2,500円
通勤手当	2km以上に支給。(上限額 24,500円) 例) 2km以上～3km未満 2,000円 以後、1kmごとに400円を加算

8 年齢別職員構成の状況(平成19年4月1日現在)



6 特別職の給料・報酬等の状況(平成19年4月1日現在)

区分	月額	期末手当
市長	862,000円(775,800円)	18年度支給割合 3.3月分 (15%加算措置あり)
副市長	657,000円(624,150円)	
教育長	632,000円(600,400円)	
議長	404,000円(391,880円)	18年度支給割合 3.3月分 (15%加算措置あり)
副議長	323,000円(313,310円)	
議員	299,000円(290,030円)	

(注)月額()は、減額措置[10%~3%]を行った後の実質の支給額です。

9 部門別職員数の状況(平成19年4月1日現在)

部門	職員数	
普通会計部門	議会	5人
	総務	106人
	税	33人
	民生	78人
	衛生	29人
	農林水産	49人
	商工	8人
	土木	35人
	下水道	5人
	その他	27人
	計	375人
	教育部門	101人
	消防部門	70人
小計	546人	
公営企業等会計部門	病院	24人
	水道	17人
	小計	41人
合計	587人	

7 一般行政職の級別職員数の状況(平成19年4月1日現在)

職員に適用される「給料表」は、職種および仕事の難易や責任の度合いに応じて1級から7級に区分されています。職務の区分と級別の職員数は次のとおりです。

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	計
標準的な職務内容	主事補(技師補) 主事(技師)	主任	主査 係長	係長 主幹	課長補佐 参事	課長	部長 支所長	
職員数	19人(17人)	22人(16人)	119人(126人)	71人(92人)	64人(48人)	42人(42人)	8人(8人)	345人(349人)
構成比	5.5%(4.9%)	6.4%(4.6%)	34.5%(36.1%)	20.5%(26.4%)	18.6%(13.7%)	12.2%(12.0%)	2.3%(2.3%)	100%

(注)()は、平成18年4月1日現在の数値です。

1 人件費の状況

市の職員には、市長や市議会議員などの「特別職」の職員と、市庁舎や支所などの各施設で働く「一般職」(消防・医療職などを含む)の職員がいます。現在、これらの職員に支払われている人件費(給与や報酬など)の総額は18年度普通会計決算で30億6,986万円、一人あたり給与費は約594万円となっています。

人件費の状況(18年度普通会計決算)

住民基本台帳人口(18年度末)	歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率(B/A)
52,206人	23,811,606千円	763,187千円	4,305,678千円	18.08%

職員給与費の状況(18年度普通会計決算)

職員数(A)	給与			計B	一人当たり給与費(B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当		
517人	1,951,461千円	273,647千円	844,753千円	3,069,861千円	5,937千円

3 職員の平均年齢、平均給料月額、平均給与月額の状況

一般行政職と技能労務職(学校主事(労務職)、給食調理員等)、教育職の平均年齢と平均給料月額等を国と比較すると、次のようになります。

一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
日置市	43.0歳	337,300円	381,500円
鹿児島県	43.3歳	349,100円	422,781円
国	40.7歳	325,724円	383,541円
類似団体	43.8歳	343,951円	408,150円

技能労務職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
日置市	50.9歳	301,100円	317,200円
うち学校主事	48.7歳	303,100円	347,700円
うち給食調理員	53.1歳	305,200円	328,100円
鹿児島県	45.7歳	337,300円	394,336円
国	48.8歳	287,094円	320,514円
類似団体	48.0歳	313,225円	346,246円

教育職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
日置市	41.1歳	301,900円	352,200円
鹿児島県	40.4歳	365,700円	435,646円
類似団体	44.4歳	348,004円	372,712円

(注) 1. 「平均給料月額」とは、平成19年4月1日現在における職種ごとの職員の基本給の平均である。
 2. 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものです。

4 職員の初任給の状況(平成19年4月1日現在)

区分	日置市	鹿児島県	国
一般行政職	大学卒	170,200円	170,200円
	高校卒	138,400円	138,400円
技能労務職	大学卒	140,300円	—
	高校卒	120,200円	—

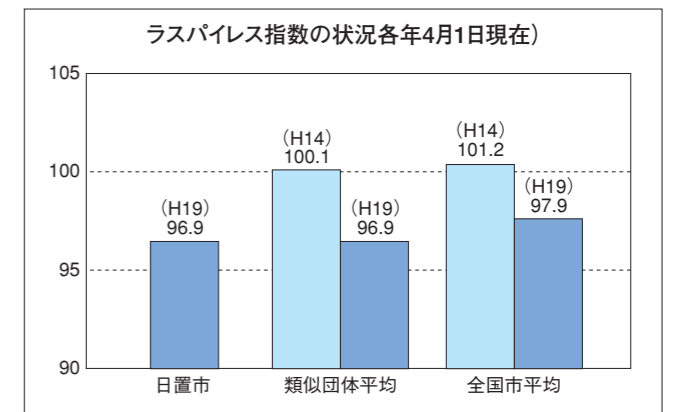
職員給与費の状況(18年度公営企業会計決算)

事業	職員数(A)	給与			計B	一人当たり給与費(B/A)
		給料	職員手当	期末・勤勉手当		
水道	19人	80,896千円	9,529千円	33,778千円	124,203千円	6,537千円
病院	24人	102,789千円	29,937千円	40,019千円	172,745千円	7,197千円

(注) 1. 職員手当には退職手当を含まない。
 2. 職員数は平成18年4月1日現在の人数です。

2 ラスパイレス指数の状況

この指数は、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数で、日置市は96.9となっています。



(注) 1. 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものです。



市職員の給与・職員数等の状況

「給料はどれくらい?」
 市民一人ひとりが快適な生活を送れるように市の職員があらゆる分野の仕事に携わり、住みよいまちづくりの実現に向けて働いています。「市の職員数は?」
 今回は、そんな声に答えるために、職員の給与や人数などをお知らせします。

竜巻から身を守る

竜巻注意情報

竜巻の発生する「危険な気象状況」をお知らせして、身を守るための行動の準備を促すものです。

情報発表のタイミング

- 半日～1日前 「気象情報」発表
 - 「竜巻など激しい突風のおそれ」と明記します。
- 数時間前 「雷注意情報」発表
 - 落雷、ひょう等とともに、「竜巻」も明記します。
- 新設 0～1時間前 「竜巻注意情報」発表
 - 今、まさに竜巻の発生しやすい気象状況になっていることをお知らせします。



「竜巻注意情報」が発表されたら

- 特に
- ・人が大勢集まる屋外行事
 - ・テントの使用や、子供、高齢者を含む屋外活動
 - ・高所、クレーン、足場等での作業
- のように、安全確保にある程度時間を要する場合には、早めの避難開始を心がけて下さい。

発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めて下さい。

「発達した積乱雲の近づく兆し」とは・・・

- 以下のような状況になると、竜巻の発生するような積乱雲が、間近まで近づいている可能性があります。
- ◆真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
 - ◆雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
 - ◆ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
 - ◆大粒の雨や「ひょう」が降り出す。

(注)発達した積乱雲が近づいた場合の代表的な現象を記したものです。これらの現象が必ず発生するとは限らず、はっきりしない場合もあります。異変を感じたら、早めの避難を心がけて下さい。

災害時の避難所一覧

地域	避難所	電話番号
東市来地域	高山地区交流センター	274-9856
	東市来農業構造改善センター	274-3665
	東市来保健センター	274-2111
	東市来総合福祉センター	274-2863
	伊作田地区活性化センター	274-9870
	皆田地区公民館体育館	274-2152
	美山小学校体育館	274-2203
	上市来小学校体育館	274-9302
	鶴丸小学校体育館	274-2103
	湯田小学校体育館	274-2043
伊集院地域	伊作田小学校体育館	274-2718
	川原記念館	274-2111
	日置市中央公民館	273-1919
	飯牟礼児童館	273-1632
	土橋児童館	273-9130
	伊集院北児童館	273-0769
	妙円寺児童館	272-4550
	伊集院地区公民館	273-0315
	伊集院武道館	273-2111
	伊集院小学校体育館	273-4852
日吉地域	伊集院中学校体育館	273-4851
	伊集院総合体育館	273-1033
	伊集院北小学校体育館	273-4858
	伊集院北中学校体育館	272-4996
	土橋小学校体育館	273-9331
	土橋中学校体育館	273-9230
	飯牟礼小学校体育館	273-2580
	妙円寺小学校体育館	273-1822
	中区集会施設	292-4302
	扇尾地区公民館	292-4060
吹上地域	日吉老人福祉センター	292-2321
	日吉中央公民館	292-2001
	山田公民館	292-2111
	住吉小学校体育館	292-2022
	日吉総合体育館	292-2056
	吹上中央公民館	296-2124
	藤元地区体育館	296-2896
	平鹿倉地区公民館	296-2889
	永吉地区体育館	297-2005
	坊野部消防詰所	296-2111
吹上地域	和田小学校体育館	296-2134
	吹上老人福祉センター	296-2394
	花田小学校体育館	296-2149
	野首地区公民館	296-2127
	吹上地区公民館	296-2083
	永吉保育所	297-2559
	吹上浜公園体育館	296-3077

※二次避難所は、一次避難所に対応できない場合に開設します。

梅雨・台風への備え



日ごろの備え

いざというときに備え、日ごろから次のような心構えや準備をしておくことが大切です。

- ・家族でそれぞれの役割や避難する場所、そこまでの道順、近所との連絡方法などについて確認し、話し合います。
- ・お住まいの近所の危険箇所や特徴などを知っておきましょう。
- ・家の周りを点検し、必要に応じて補強や修理、排水溝の掃除など浸水や強風へ備えておきましょう。
- ・気象情報など普段から確認する習慣をつけましょう。
- ・非常持出品として、非常食、飲料水、懐中電灯、携帯用ラジオ(乾電池)、救急医薬品、衣類、貴重品などを準備しましょう。

これから、本格的な梅雨・台風の時期を迎えます。近年、前線や台風の影響で毎年のように大雨に見舞われ、各地では深刻な土砂災害などの災害が発生しています。また、長雨に加え、暴風を伴う大雨、高潮や突風などにより大きな災害が発生するおそれがあります。テレビやラジオなどの気象情報(注意報・警報)や市の防災行政無線の放送から伝えられる情報などに十分注意し、身の危険を感じたら早めの避難を心がけましょう。

土砂災害の形態やその前兆現象を知りましょう!

次のような前兆現象を確認したら
早めに避難するよう心がけてください。

土砂災害の形態	現象とそのまえばれ(前兆現象)
<土石流>	<ul style="list-style-type: none"> ☆長雨や集中豪雨などにより、山や川の石や土砂が、水と一体となって一気に下流へ流れる現象です。(前兆現象) ●山鳴りがする。 ●雨が降り続けているのに川の水位が下がる。(土砂により上流で流れがせき止められている。) ●川の水が急に濁ったり、流木がまざり始める。 ●腐った土のにおいがする。
<がけ崩れ>	<ul style="list-style-type: none"> ☆長雨や集中豪雨などにより、斜面が急に崩れ落ちる現象です。(前兆現象) ●がけに亀裂が入る。 ●がけから水が湧き出してくる。 ●がけから小石がばらばらと落ちてくる。 ●がけから木の根が切れるなどの異様な音がする。
<地すべり>	<ul style="list-style-type: none"> ☆地下水などが粘土のようなすべりやすい地層にしみこんで、その影響で地面が動き出す現象です。(前兆現象) ●沢や井戸の水が濁る。 ●地面にひび割れができる。 ●斜面から水が噴き出す。 ●家やよう壁に亀裂が入る。 ●家やよう壁、樹木や電柱が傾く。

早目の避難

最新の気象情報などに注意して、浸水やがけ崩れなど災害のおそれがある場合には、自主的に早めの避難を行い、災害から身を守りましょう。

- ・避難するときは、戸締まりと火の元の確認をしましょう。
- ・お年寄りや子ども、病气やケガなどで体の不自由な方がいる家庭では、特に早めに避難しましょう。また、これらの方々は、家族だけでなく、近所の人にも気配りを心がけ、協力してみんなで行動するようにしましょう。

大雨や台風が去っても注意が必要です

大雨や台風が去っても、土砂災害など二次災害が発生するおそれがあります。引き続き注意をするよう心がけ、いつもと違う現象(普段わき水がないところから水が噴き出す、がけの斜面を小石が転がり落ちるなど)を見かけたら、市や防災関係機関へ連絡をお願いします。



▲平成19年7月の大雨による伊集院町飯牟礼での土砂災害

シニア海外ボランティアに参加して

井神 哲次(アルゼンチン・日本語教育)



▲アルゼンチンサルタ市

アンデス山脈の裾野に広がる州都、サルタ市のカトリック大学で日本語を教えました。日本との時差十二時間、首都から約二千km離れた地で何で日本語教育なの？アンデスの山々を越えるとそこは太平洋。大豆やたばこ、トウガラシなど、この地の豊かな農産物をアジアに輸出する構想がありました。そのためには、相手先の言葉や文化を知る必要があったのです。

サルタの町の通りには、日本のブランド車が数多く走っています。でも、一步、外に出ると擦れ違いざまに穴があくほど見つめられたり、日本の位置が東南アジアにあったり、こちらでは日本は未知の国なのです。そんな中で、戸惑い、悩み、共に笑い、二年間を過ごしました。とりわけ、通勤や小旅行で利用したバスは、彼の地の人々の生活や様子を知る絶好の物でした。赴任当初、家から直接大学まで行く路線がないので、一日二往復しなければならぬ路線を見つけて第一の関門でした。それは、当地はほとんどの

道路が一方通行だからです。当初は、バス停の標識はなく、車内放送してくれるでもなく、物を見失わないようにブザーを押すのが精一杯でした。

そのうち、慣れてくると色々、日本とは違う光景に気づくようになりました。まず、「乗ります！」手を挙げてバスが止まってくれないことです。特に、朝は何台も何台も通り過ぎて行きます。車内後部は空いているのに、「どうして？」と、授業時間を気にしながら腹を立てていました。

また、一人で何役もこなす運転手に感嘆しながらも怖くなることさえありました。まず、お客からお金を受け取り、切符を切って渡してくれず。勿論、お釣りも渡します。時々、小銭がないと言って渡してもらえないときもありました。そんな受け渡しのときもバスは走っています。さらに、券売機の切符番号を手帳に書き込みながらの手放し運転をしています。後で、売上金と照合するためでしょうか。そんな彼らも完全な運転は難し

いようです。乗降扉を開けたまま走ったり、降車ブザーで知らせても通過されたりしたときもあります。ですから、車内では手すりをしっかりつかんで、ブザーは強く何度も押すようにしていました。

次に、バスに運転手の人柄が現れていることです。朝からのりの良い音楽を流してくれる陽気なバス。降り際に「またね！」と声を掛けてくれる爽やかなバス。今日はどんなバスかと期待するときもあります。そんな車内が一変する瞬間があります。それは、バスが教会のそばを通るとき、乗客達が一斉に十字を切るときです。一緒に十字を切る運動手もいます。そんな土地柄だからでしょうか。高齢者や子ども連れが乗っていると、「セニョーラ！」と声が掛かり、誰とはなく席を立てて彼らに譲ってくれます。優しさに溢れた光景にも会いました。

このバスに乗ったことで、サルタの人たちや彼らの生活の様子などを垣間見ることができました。また、人との触れあいが心の距離を埋めることも痛感しました。「アルゼンチンに、いつ戻って来ますか？」の声を背に、帰国の途に就きました。



▲日本語の授業の様子



▲日本文化デー

異文化交流

日置市の国際交流活動

韓国と日本の架け橋として

韓国から李濬京さん着任

これからの活躍に期待

日置市の新しい国際交流員(ＣＩＲ)として李濬京(リ・ジュンギョン)さんが四月十日、着任しました。

李さんは韓国・ソウル市出身の二十五歳。経歴としては、漢英外国語高等学校、韓国語外語大学で日本語文学を合計十年間専攻し、大学卒業後、韓国で韓国語と日本語の講師として活躍されていました。大学在学中には、長野県で開催された国際ボランティアキャンプに参加したり、大阪のホテルや東京のレストランで働き、日本でいろいろな経験や文化を学ぶ事ができたそうです。

李さんは韓国の交流員としては五代目で、これから本市の国際交流事業の企画立案や通訳、韓国語教室・講演を通じ、学校や市民の異文化交流のための活動を行います。李さんの任期は一年間(更新により最長二年間)で、東市来支所地域振興課で働

務します。「韓国と日本の架け橋として、精一杯努力していきたい」と思っています。鹿児島弁もたくさん覚えたいです」と抱負を話してくれました。趣味は料理、ドラム演奏。



▲職員から歓迎を受ける李濬京(リ・ジュンギョン)さん

吹上支所で勤務するマレーシアからの国際交流員ザカリアさんと力を合わせ、交流の輪が更に、広がることを期待します。



▲辞令交付式

地域の一員となって 頑張りたい

日置市国際交流員の金信愛(キム・シンエ)さんが二年間の任期を終え、三月二十八日に韓国へ帰国しました。金さんは平成十八年四月から国際交流員として勤務し、市内小・中学校の『総合的な学習の時間』などで韓国の文化・風習を紹介したり、韓国南原市との青少年交流事業や韓国文化交流

金信愛(キム・シンエ)さん 二年間ありがとう

韓国へ帰国

事業では優秀な語学力を活かし、日本と韓国との連絡調整や翻訳、通訳に積極的に取組み、両国の架け橋を担っていただきました。金さんは、「日置市での経験を今後の人生に活かしていきたいです。日置市が私の第二のふるさとです。二年間本当にありがとうございました。思い出をのみしめながら話していました。



▶2年間の思い出を胸に宮路市長へお別れのあいさつ



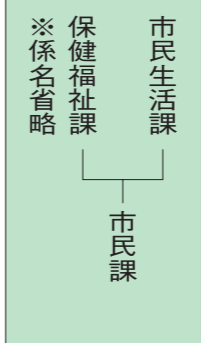
▶職員に見送られる金さん

4月1日から市役所の組織が変わりました

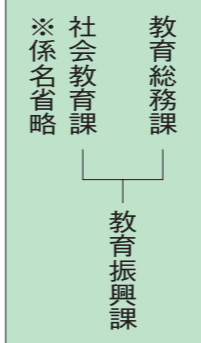
市では、これまでに引き続き行政改革大綱およびアクションプラン（II実行計画）に基づき、職員数の削減による簡素で効率的な組織づくりを推進し、新たな行政需要や多様化する市民サービスに対応できる組織の整備を図るため、平成二十年四月一日に機構改革を行い、市役所の課・係の一部を変更しましたので、お知らせします。

②課・係の統合

■各支所市民生活課と保健福祉課を統合し、「市民課」を設置

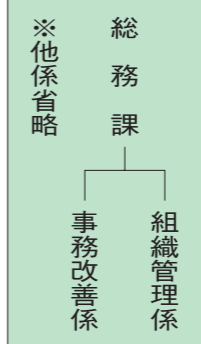


■各支所教育委員会教育総務課と社会教育課を統合し、「教育振興課」を設置

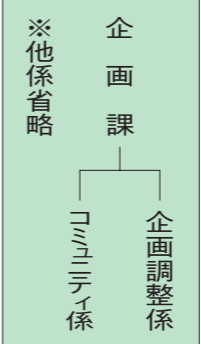


③係の新設

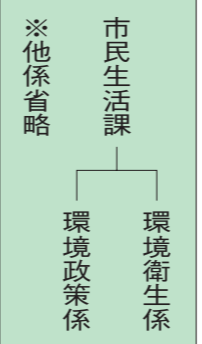
■企画課行政改革推進係を総務課に移管し、組織管理係と事務改善係を設置



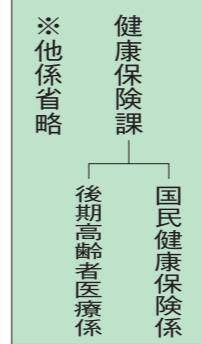
■本庁企画課企画調整係を分割し、企画調整係とコミュニティ係を設置



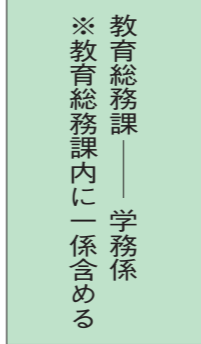
■本庁市民生活課環境衛生係を分割し、環境衛生係と環境政策係を設置



■本庁健康保険課国保老人保健係を分割し、国民健康保険係と後期高齢者医療係を設置

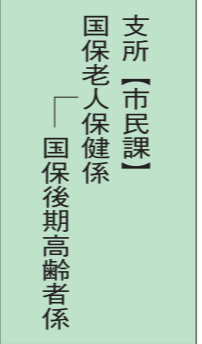


■市教育委員会学校教育課学務係を教育総務課に移管し、教育総務課に学務係を設置



④係名の改称

■各支所市民課国保老人保健係を国保後期高齢者係に改称



「地域福祉計画」を定めました
昨年の五月から計画策定を進めてまいりました、日置市地域福祉計画を定めました。
この計画は、すべての市民が自らの意思で社会活動に参加できるように、様々な福祉制度の具体策を定めたものです。
今後は、この計画の実現に向け、市民や関係機関・団体等と連携を図りながら、積極的に取り組んでまいります。
また、今回の日置市地域福祉計画の概要をまとめた「日置市地域福祉計画概要版」を、市民の皆さんによりこの計画を身近なものとして活用していただくために、各世帯へ配布いたします。



▲地域福祉計画策定委員会の状況

交通事故ゼロをめざして



▲交通安全出発式

春の全国交通安全運動が始まった四月七日、市役所前で交通安全運動出発式が行われ、警察や交通安全協会など約五十名の関係者が出席しました。出発式では、宮路市長、林日置警察署長があいさつ。その後、市役所新入職員2名による交通安全宣言を行い、白バイを先頭に関係車両十台が広報パレードに出発しました。春の全国交通安全運動期間中



▲市内パレードへ出発

は、通学路での街頭指導をはじめ、交通事故が一件でも減らせるように市内各地で様々な取り組みが行われました。

春の全国交通安全運動

久しかぶいじやした

平成二十年度関東東市来会総会

東京都品川区の三州倶楽部で四月十九日、平成二十年度関東東市来会（前田国次会長）が開催されました。出席者は約百名で、湯田平副市長、畠中市議会議長などが出席。会長あいさつの後、湯田平副市長、畠中市議会議長が来賓あいさつを行い、郷土の現状を紹介しました。総会終了後、講演会が開催さ

れ、元産経新聞編集員 牧野弘道氏（東市来町湯田出身）が「戦跡を歩んで」と題し、実父である牧野中將の戦跡の紹介や終戦があと二ヶ月遅れば、東市来の江口浜に米軍が上陸する計画があったことなどに皆さん興味深く聞き入っていました。懇親会では、一年ぶりの再会とあって、故郷への思いや新市への期待などの話題で盛り上がりました。



社会貢献ボランティア

日置市シルバー人材センター

日置市シルバー人材センターの会員約二百二十人が、四月二十四日市内各所の清掃作業を行いました。これは、年二回（四月および十月）実施しており、この日は、よりよいシルバー人材センターを目指すために、会員の募集も兼ねて作業をしていただきました。

地域で見守ります

スクールサポートボランティア対面式

鶴丸小学校（東市来）で四月二十八日、スクールサポートボランティアの方々との対面式がありました。スクールサポートボランティアは、児童の登下校時にパトロールや校外学習、クラブ活動などを自発的に支援する地域住民の活動で、児童を見守る四十人が支援します。種子田忠紀さんは「良いあいさつ、下級生の面倒をみることで、十分な睡眠時間、朝ご飯をしつ



かり食べることを心がけてください」と励ましました。

特定農用地利用規程認定交付式

古城・八枝地区、養母・長里地区

で、地域活性化に努めたい」と抱負を述べました。

特定農用地利用規程認定交付式が三月二十一日、市役所で行われ、古城・八枝地区（伊集院）と養母・長里地区（東市来）が認定されました。
式では、各地区農用地利用改善組合の代表者に認定書が交付された後、宮路市長が「各地区で効率的な土地の活用を努めていただき、他地区の見本となつてほしい」と激励。
それに応じて各地区の代表者が「地域一体となった取り組み



▲認定書を受け取る古城・八枝地区の代表者



▲認定書を受け取る養母・長里地区の代表者

大太鼓の贈呈式

宝山太鼓の引渡し式

宝山太鼓の引渡し式が四月二十日健康交流館ゆづる吹上で行われました。



一本の木をくりぬいて作られた大太鼓は、三尺四寸の大きさで、重さは約五百キロになります。西酒造株式会社（西陽二郎代表取締役）から日置市へ寄付。市の備品として吹上青松太鼓保存振興会（北野和則会長）に貸与されたものです。「地域発展のために活用して

いただきたい」と西陽三会長からあいさつがあり、宮路市長から保存会へ目録の贈呈がありました。「市の発展のため一生懸命がんばります」と北野会長のあいさつの後、合図で西会長と市長が初打ちを行い会場には「ドン」と体にずしりとした振動と重い響が広がりました。今後は市内外へ大太鼓の演奏が披露されていくことでしょう。

新しくなって大賑わい

江口蓬菜館

東市来地域江口蓬菜館が四月十九日、リニューアルオープンしました。

売場面積等三百二十平方メートル、通路はゆつたりとなり買い物がしやすくなりました。

総事業費一億六千八百万円。当日、十一時半から式典があり全商品、レストランが二十五日まで一割引となり、店内はお客様で大賑わい。

土、日曜日は、お買い物して頂いた方、先着千名様にちりめんのかまあげをプレゼント。二十三日から二十五日はオー



ブンセールとして、来館者に、ぼたもち、おもち、おにぎりの無料配布、お買い上げいただいた方には、ちりめんのかまあげのプレゼント。
また、二千円のお買い上げごとに、一回の抽選会を開催するなどお客様には喜ばしいリニューアルオープンとなりました。駐車場百二十台、レストラン百四十席。
営業時間（九月まで）九時～十八時
お問い合わせ先 江口蓬菜館
電話 二七四一七六六

成功させよう・ねんりんピック鹿児島2008

東市来文化交流センター

ねんりんピック鹿児島2008日置市実行委員会第二回総会が四月十一日、東市来文化交流センターで開催されました。

総会では、この大会を通して日置市の魅力を全国に情報発信、PRできる機会と捉え、全国から参加される選手、役員の皆様を迎えるための事業計画と予算が承認されました。「かごしまで 元気・ふれ合い、

ゆめ噴火」をテーマに鹿児島県を会場に十月二十五日（土）から二十八日（火）の日程で第二十一回全国健康福祉祭かごしま大会「ねんりんピック鹿児島2008」が開催されます。
日置市では、ソフトボールとウォークラリーの二つの交流大会を開催します。大会の概要は、次のとおりです。

〔ソフトボール交流大会〕
平成二十年十月二十五日（土）～二十八日（火）
会場 東市来総合運動公園・湯之元球場
〔ウォークラリー交流大会〕
平成二十年十月二十五日（土）～二十六日（日）
会場 伊集院文化会館及び周辺特設コース



歴史的財産を地域活性化に

ザビエル像建立除幕式

市来鶴丸城跡（東市来）で四月二十七日、ザビエル像建立除幕式があり、三百人が出席しました。

これは、日本に初めてキリスト教を伝え、同城に滞在したスペインの宣教師フランシスコ・ザビエルの像を建立し、地域の発展・活性化につなげようと聖フランシスコ・ザビエル像建立委員会が企画したもの。

式では建立委員会長の石神兼文さん（元鹿児島大学学長）が「ザビエルの思いを継ぎ、地域のひとともに世界平和に努力したい」と話し、鹿児島大学教授池川直さんが制作した像から幕が下ろされると、辺りは拍手と歓声に包まれました。

吹上の春を満喫

吹上青松ジョギング大会

小雨混じりの肌寒い中、第二十三回吹上青松ジョギング大会が四月六日、吹上浜公園で開催されました。県内外からおよそ千五百人が参加。
桜が咲き香る吹上浜公園周辺を皆思い思いのペースで歩き、走りしました。
ウォーキングは五キロと十キロの二コース。
ジョギングには、一・五キロ、三・七キロの三コースにそれぞれ分かれ汗を流しました。
ジョギングの優勝者は以下のとおりです。（市内関係分敬称略）

男子・五キロ 有村啓吾（小学三年生以下）岡村海青（小学四年～六年以下）木場慎二（中学以上三十歳未満）高野親志（五十歳以上）三三 木山翔太郎（小学四年～六年以下）有馬久光（五十歳以上）
女子・一・五キロ 岡元秀佳（小学三年生以下）富奥裕子（三十歳以上五十歳未満）
三三 岡村優那（小学三年生以下）下園理恵（小学四年～六年以下）富奥裕子（三十歳以上五十歳未満）七三 西村理那（中学生以上三十歳未満）富奥裕子（三十歳以上五十歳未満）



自分の足で春を歩く

吹上温泉ウォーキング大会

吹上温泉ウォーキング大会が三月十二日、吹上温泉広場周辺で開催されました。この大会は「医療費の負担を減らし、市民の健康づくりに役立てたい」と、吹上地域運動普及推進員協議会が主催しているもので、今年二回目。

同広場を発着点に、海を眺めて歩くコース(六・三キ)と歴史探索コース(六・六キ)の二コースを用意。最高齢の八十二歳をはじめ、市内外からの参加

者百二十三人が、温泉や草花の香りを楽しみながら、思い思いのペースで歩きました。

大会に合わせて、日赤奉仕団による災害非常炊出も企画。参加者はビニール袋での炊飯体験にも取り組みました。

参加者は主催者手作りの焼そばと炊き出しご飯の昼食に、笑顔で舌鼓。吹上温泉旅館組合が提供した入浴半額券で、吹上の一日を堪能していました。



世界の味を堪能

第五回世界料理講座



東市来文化交流センターで三月十五日、第五回目となる「世界の味」が開催されました。

今回はマレーシア出身で、国際交流員ザカリア・ムスタファアさんを講師にカリイカン(魚カレー)とケリア(サツマイモドーナツ)を調理。

工程が進むにつれて室内を香料のスパイシーな香りが包み

参加者は常夏の国マレーシアの味に大満足でした。

最後となった今回の講座では「回数を重ねるにつれて講座生同士でも仲良くなれた」「全五回の講座で様々な国の料理が学べてよかった。また参加したい」と意見も出るなど、大成功のうち世界味の旅は幕を閉じました。

棚田散策&山菜狩り体験

尾木場めだかの里

東市来地域尾木場地区で四月六日、「棚田散策&山菜狩り」が行われました。

この日、日置市をはじめ鹿児島市などから十八家族六十人が参加され、棚田の散策やめだかの見学、タケノコ掘り、山菜狩りを楽しみました。

タケノコ掘りでは、自分の顔より大きいタケノコを掘り当てた子供や袋いっぱい詰めた様子



楽しい山菜狩り

家族の姿が見られました。

ワラビ狩りでは、畑一面に生えたワラビを一生懸命摘み取り、尾木場の春を満喫しました。

参加者は、「尾木場地区の人々のやさしさ、暖かさを感じ、心が癒されました」「昔の農村の懐かしい風景が残り、都会には欠けている何かを得られた体験でした」などと、感激した様子で地区を後にしました。



うまく掘れるかな

受け継がれる伝統

湯之元馬頭観音馬踊り

湯之元温泉街(東市来)で四月十三日、湯之元馬頭観音馬踊りがあり、木市や露天商も軒を並べ、約一万人の人出で賑わいました。

きれいに飾り付けされたシャシヤン馬を先頭に、主催の湯之元クラブやミス日置などの踊り連が太鼓や三味線、おはやしに合わせて温泉街を一日かけて練り歩きました。

踊り子の後継者不足が心配さ

れる中、中央自治会の宮内隆乃介くんが親子そろって参加。

連日の練習の成果もあって見事踊りきりました。

「練習は難しかったけど、皆と一緒に踊れて楽しかった」と隆乃介くん、お父さんの光一さんは、「今の時代の子で親についてきて、地域の行事に参加してくれることがうれしい」と顔をほころばせながら話してくれました。



きれいに飾り付けられたシャシヤン馬



一緒に踊る宮内さん親子(写真左が隆乃介くん)

しなる竿に満足な笑顔

平鹿倉ニジマス釣り大会

平鹿倉ニジマス釣り大会が四月二十日、旧平鹿倉小学校(吹上)のプールで開催されました。

この日のために、壮年部の方々が大口市から三ツの稚魚二千五百匹を購入し、昨年十一月から大切に育ててきました。

ニジマスは一週間前からエサぬきでしたが、体長は大きいものになると二十五センチを超えて育っていました。

一番の苦労は、約三百リットルから引いている「水」の管理が



みごとなクリアに大拍手

M.F.J.全日本トライアル選手権

二〇〇八全日本トライアル選手権シリーズ第二戦九州大会が財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会九州支部の主催で四月六日、錫山オフロードランドで開催されました。

大会は、国内各地からスーパー国際A級クラスのライダーをはじめ七十九人がエントリー。

自然の地形を使い粘土質の滑りやすい二段になった壁や、岩盤、丸太等に見事なスーパージャンプで果敢に挑戦しました。

トライアルとは、持ち時間内でライディング技術の正確性を競うスポーツです。

コースの途中に設けられた採点区間でいかに減点なく走り抜けるかを競います。

今大会では十の採点区間を三周しました。

選手が挑戦し素晴らしい走りや障害物をクリアすると、詰め掛けた観客から大きな拍手と声援が会場にこだましました。

地区を越えた交流でリーダー育成

日吉地域子ども会リーダー研修会

日吉地域子ども会リーダー研修会が、県立南薩少年自然の家で、四月五日から六日の日程で開催され、地域内の各子ども会から三十九名が参加しました。初日は、日吉中央公民館から全員自転車に乗り、桜が満開の南薩自転車道を一路南さつま市へ向かいました。

約二時間余りのサイクリングは全員無事完走。入所式のあと「時間厳守・笑顔であいさつ・心のリレー」を掲げての研修が始まりました。まず、日吉地域子ども会の役員選出です。

「自薦他薦を問いません！自分たちで、やる気満々のリーダーオブリーダーを決めましょう」ということで地域子ども会長に上田平悠希君（扇尾子ども会）副会長に川野隆裕君（日置麓子ども会）上妻好枝さん（南区子ども会）が選出され、組織図と年間計画を全員で作成しました。二日目は、野外活動のカヌー体験があり、緊張しながらも楽しそうでした。オールを漕ぐにもチームワークで一致団結、いつもと違う環



▲組織図の作成



▲ハラハラドキドキ・カヌー体験

境の中で子どもたちは、心一つにする貴重な体験ができました。今回の研修で体験したり感動したことを各地域のリーダーとして積極的に子ども会活動に生かしてくれると期待します。

新緑の美山を味わって

窯焚きコンサート&美山ウオーク



▲指定校目録の授与

美山陶遊館隣の四〇〇年窯広場で四月二十九日、窯焚きコンサートが開催されました。

主催は、美山地区公民館、むつみ会、薩摩焼振興会、婦人部、美山小PTAで、来場者へのお餅、飲み物、漬物等の準備に追われ、コンサートが始まりました。

午前中の奏者は、地域を盛り上げるために音楽活動している東市来在住の里園亜希さん（エ

花の栽培で人権尊重思想の普及高揚

「人権の花」運動開会式

日置小学校で四月二十一日、「人権の花」運動の開会式が開催されました。

この運動は、児童が協力し合って花を栽培することにより、やさしい心や思いやりの心を育て、相手の立場・相手の身になって考え、行動し、感謝することを理解させ、栽培し咲いた花を周囲の人に観賞させることにより児童の情操をより豊かにし、児童に豊かな人間関係を体得させ、もって人権尊重思想の

普及高揚を図ることを目的としています。

主催は、日置市・県人権擁護員協議会・県人権啓発活動ネットワーク協議会で本年は県内十八校が運動指定を受けました。

日置市では、日置小学校が指定を受け、児童代表の柿元将志君（六年生）が日吉支所の妙見教育振興課長から指定校の目録を受け取り、自然にやさしい人々にやさしい心を育てることを全校児童一緒に誓いました。



うたよみ

日置市文化協会

短歌・俳句・さつま狂句

短歌

かなな短歌会（東市来）

咲き満つる桜並木に花見上ぐ
来年も見たくしかと歩きぬ

西田 ヒメ

優性が劣性遺伝かわからねど
親子の電話は「あ、うん」の双子

西村 辰志

親指の先ほどになりし梅の実を
仰ぎ数ふる卯月の朝

下茂千鶴子

伊集院短歌講座

田の道に浮塵子ぶによぶによ日に透けり
散歩のコース暫し変えよう

今田 純江

短歌とう不思議なものを友にして
ここまで来ました日常茶飯

坂元 芳美

古い母の車椅子押し花園を
ゆるりめぐりき命日がくる

宮園 良子

背の泡をそっと流してくれる娘に
涙みせず風呂場を出でぬ

阿多 貞子

桜咲く季節華やぐも人の世は
悲喜こもごもに背負い旅立つ

西 ヒロコ

イヌフグり太陽に向き咲き揃う
笛の合図に合わせるように

東 トキ

俳句

伊集院俳句会

庭石をとりまく十二単かな

久保野千代子

囀りの外なるこゑとして鴨よ

小浜十四子

蒲公英や野に散りばめし金釘

種田 隆一

泥手拳げオーと挨拶夏帽子

伊堂寺重義

水甕を優しく叩く春の雨

野上 政人

木蓮に白無垢想ふ気品かな

下原ミヨ子

砥ぎ上ぐる鋼の匂ひ夏立ちぬ

今村 迪子

何時の間に刻過ぎゆけり今年竹

馬籠 アイ

蓮如忌や櫂のうへに日のうつる

片之坂みす子

さつま狂句

飯牟礼狂句会（伊集院）

心配な事つパンツんギッタ
ひっ伸びっ

松尾十四純（利博）

小んけ爺が身長伸びた
孫子を撫でっ

益満 元男（昭人）

ちよつしもた伸びた茶の新芽い
遅霜がふっ

西 楽喜生（義人）

子ん旅立つ親ん愛情を
荷い詰めっ

池上 純爺（耕成）

孫が掘っ小め貝を婆は
浜め戻でっ

池上 歌子（良子）

網繕れ襦袢ん爺どん
並ばせっ

前田 万転（和平）

ギャラリー 私の作品展
『トールペイント』

遠矢 ゆかりさん(43歳) [吹上町南湯之元]

「トールペイント」を習い始めて4年目になります。きっかけは、友達に「育児中の息抜きに始めてみない?」といわれたことです。月に1回のゆっくりとしたペースもあり、今では、楽しくて仕事と息子の育児に追われながらも、トールペイント教室の代表者もしています。トールペイントは、何回も色を重ね明暗をつけて立体感を出したり、筆使いにもいろいろな技術があります。「作品が完成したときは、嬉しくて次はどんな作品を作ろうか楽しみです。そして、早く自分の作品を家中に飾りたい」と遠矢さん。また、「生徒さんも募集しています」とも。これからも長く楽しく続けていきたいですね。





ウォッチまの文化財 36

き わき おおの すけすけ よし ぼ とう
木脇大炊介祐兄墓塔 (伊集院地域)

木脇大炊介祐兄は戦国時代の武士で、島津本家 15 代当主貴久 (1514 ~ 1571) に仕え、多くの戦いで戦功をたてたとされています。貴久は、島津氏の分家で現在の吹上地域南部を領有していた、伊作島津家の当主忠良 (日新斎とも称す) の長男として生まれました。貴久は、大永 6 年 (1526) に島津本家の養子となり、本家 15 代当主になりました。貴久が本家当主になることに反対していた出水の領主島津実久は、貴久のいる清水城 (現鹿兒島市) を攻めました (1527 年)。不意をつかれた貴久は、木脇大炊介祐兄と数名の家臣に守られ深夜に清水城を脱出しました。貴久一行は敵に追われながら山中を抜け、忠良が居た田布施 (現南さつま市) にたどり着くことができました。その後、貴久は実久と 12 年間にわたり戦って勝利し、名実ともに本家当主となりました。祐兄は、貴久の脱出を助けたほかにも、多くの戦いで戦功があったとされています。そのほうびとして現在の伊集院地域恋之原地区の土地を領地にもらい、恋之原に住み、この地で亡くなったと伝えられています。

〔引用参考文献〕『飯牟礼校区郷土史』飯牟礼校区公民館



Access
日置市本庁から車で 10 分



私の夢はイルカのトレーナー

私が、小学校一年生の時に鹿児島にある水族館に行きました。入口からゆっくり館内を回って最後にイルカのショーを観ました。初めて観るイルカのショーだったので、始まるまでとてもときどきしていたのをよく覚えてます。ステージを動き回りながらイルカと姿を見て、「イルカと一緒に息を合わせてショーをするのは楽しそう。私もやってみたい」と思いました。そして、イルカのかわいい目

と賢さにひかれたのがイルカのトレーナーを目指したきっかけです。また、小さい頃からスイミングも習っています。このことがトレーナーになるために少しでも役に立てばいいなと思います。

将来、私が感じたような気持ちにお客さんがなってもらえるようなショーのできるトレーナーになりたいです。どんなことがあっても、この夢だけはあきらめず、夢にむかってがんばりたいと思います。

花田小学校六年 徳田 陽香さん

いきいき ひと

シリーズ 37

元気である限りガイドを続けたい

日吉町吉利にお住まいの原さんは、平成三年から日吉町史談会(現在は副会長)、平成六年から南九州城郭団体会員、平成十七年から日置市文化財保護審議委員をつとめ現在は、ボランティアガイドとして毎日多忙な日々を送っています。

若い頃から城に興味があったという原さんは、昭和二十年代から全国(北は北海道から南は沖縄まで)の城五十ヶ所以上を訪れたことがきっかけで歴史に興味を持ったということ。さらに、城のことでわからないことがあると、二十年前から、県立図書館等に通い膨大な資料を書き写し自分が納得するまで調べます。また、昨年は、吉利地域の自治会統合がきっかけで、北区、中区、南区のそれぞれの史跡と題して、講演も行いました。

現在、大河ドラマ「篤姫」でおなじみの日吉町吉利で「園林寺(おんりんじ)跡」や、「小松帯刀」について、ボランティアガイドとして、遠くは、青森、東京等から訪れてくれる方々に案内をしています。

取材をしたときは、昨日案内した人から、「今日は、丁寧な説明をありがとうございました」とお礼の電話があったことを、うれしそうに話してくださいました。

これからは、後継者ができればと言いますが、まだまだ元気な原さんは、好きな歴史についてガイドをすることが、元気の源と話します。



はら ときしげ
原 時重さん [79歳]

日吉町吉利 (南区自治会)

- 日置市文化財保護審議委員
- 日吉町史談会副会長
- 南九州城郭談話会会員

わんぱく直送便

元気のあるお子さんの写真を募集しています。

市内に在住の6歳以下のお子さん
①氏名②生年月日③保護者氏名④お子さんの近況(お子さんへのコメント)⑤広報へのご意見⑥連絡先を添えて、市役所総務企画部企画課(住所は末)までお送りください。

ゆうと
松田 優人くん(2歳4か月)

父 伸也さん 母 紀子さん
(東市来町湯田)

■おかあさんから
将来は、お父さんと一緒に馬蹄りを踊ってね。

ひなた
山之内 陽ちゃん(1歳10か月)

父 司さん 母 洋子さん
(東市来町長里)

■おかあさんから
このまま、かわいい子に育ててね。



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)

総人口 52,279人(393)
 男 24,448人(266)
 女 27,831人(127)
 世帯数 22,456 (301)
 5月1日現在 ()は前月比

市の面積 253.06km²

今月の表紙



460年の時空を超えて

市来鶴丸城跡に同城とゆかりの深いザビエルの像が建立されました。地域活性化の願いが460年の時空を超えてカタチとなりました。

(4/27ザビエル像建立除幕式 P11関連記事)

No.37 平成20年5月号

発行/日置市役所
 総務企画部企画課

〒899-2592
 日置市伊集院町第一丁目100番地

TEL 099 (273) 2111
 FAX 099 (273) 3063

東市来支所
 TEL 099 (274) 2111

日吉支所
 TEL 099 (292) 2111

吹上支所
 TEL 099 (296) 2111

<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

わが地域

八幡自治会
(日吉地域)



平成十八年四月に新橋・八幡・宮下・久保園・松ヶ尾・旭西・旭東・狩合の八集落が統合して、新たに発足した八幡自治会。日吉地域のほぼ中心に位置し、平成二十年五月一日現在で二百十三世帯、四百九十七人が暮らしています。

自治会が統合して丸二年が経ち、これまで以上に伝統芸能や自治会活動に、住民一体となって取り組んでおり、明るく活気に満ちています。



▲虚無僧踊りの二才衆



▲山口義光会長

八幡自治会(日吉地域) 伝統芸能を受け継ぐ活気に満ちた住みよい地域

八幡自治会は、お田植え祭り「せつぺとべ」、太鼓踊りなど郷土伝統芸能や、自治会活動も盛んで八幡神社六月灯、自治会産業・文化祭や運動会など住民一体となって取り組んでいます。この運動会には、子供から大人、お年寄りまで、ほとんどの方が参加します。さらに、自治会産業・文化祭では、農産物などの販売のほか、住民の方々の自慢の作品(手芸品、書道、絵作文等)の展示もしています。また、婦人部、子供育成部による、料理展示や公民館屋内でのバイキングも実施され自治会内外の参加者も多く、大いに盛り上がりました。この他にも美化運動として、大川堤防除草作業や地域の親睦を図るための敬老祝賀会、鬼火たき、十五夜、新年会、健康増進を図るためのグランドゴルフ大会や健康講座等

を開催しています。お、この伝統芸能や、地域の行事などは各専門部(産業部、郷土芸能部、子供育成部、婦人部、高齢者部)の役員の方々が中心となり活動していますが、「せつぺとべ」は、伝統の「虚無僧踊り」を八幡神社に奉納するため、郷土芸能部が中心となり五月から、練習に取り組んでいます。

八月に行われる太鼓踊りも昭和六十一年に公民館が新築されたのをきっかけに復活しました。この太鼓踊りも、八幡神社に奉納するため毎日暑い中生懸命練習します。



▲太鼓踊り



▲運動会

これからの、地域の目標としては、高齢化が進んでいる中、地域の皆さんが共同意識、連帯感を持って子供や高齢者が安心して暮らせるように支援していきたいです。また、自治会が合併したことにより、いままでも小さな集落ではやりたくてもできなかった事など地域のみさんの協力を得ながら、自治意識を高め、活気に満ちた明るい住みよい地域、「子どもからお年寄りまでが本当にここに住みたい」と思える地域」にしたいです。